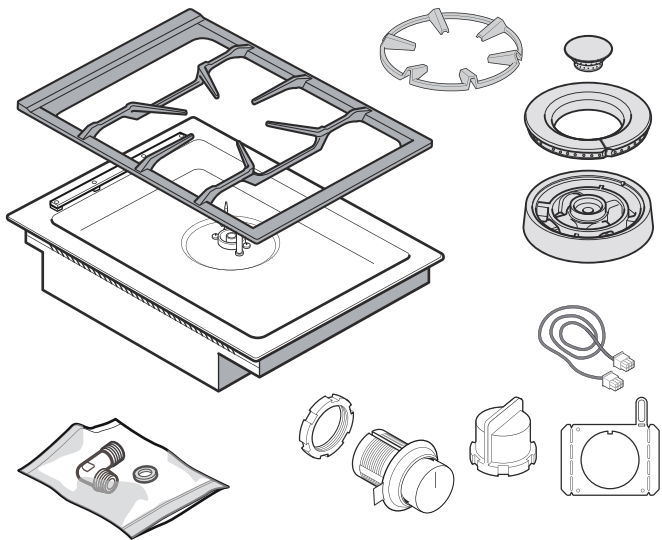
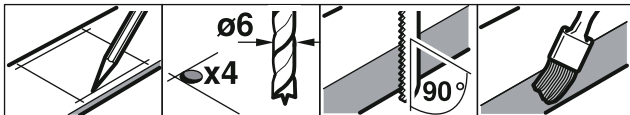


設置説明書

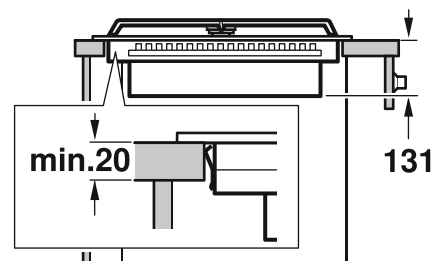
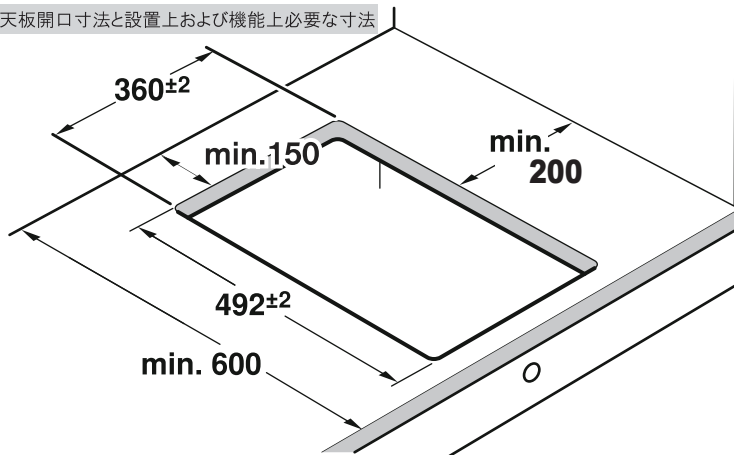
(本説明書は取扱説明書と併せて大切に保管しておいてください)



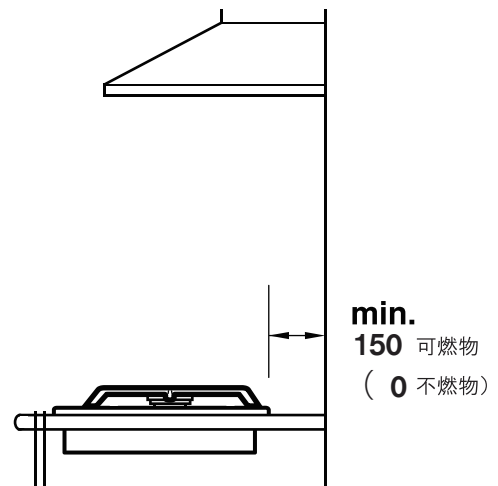
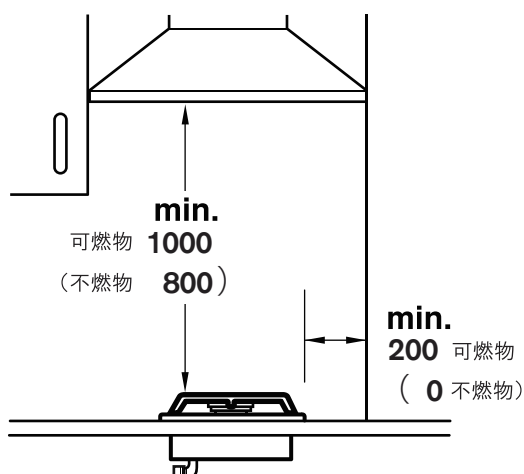
1a



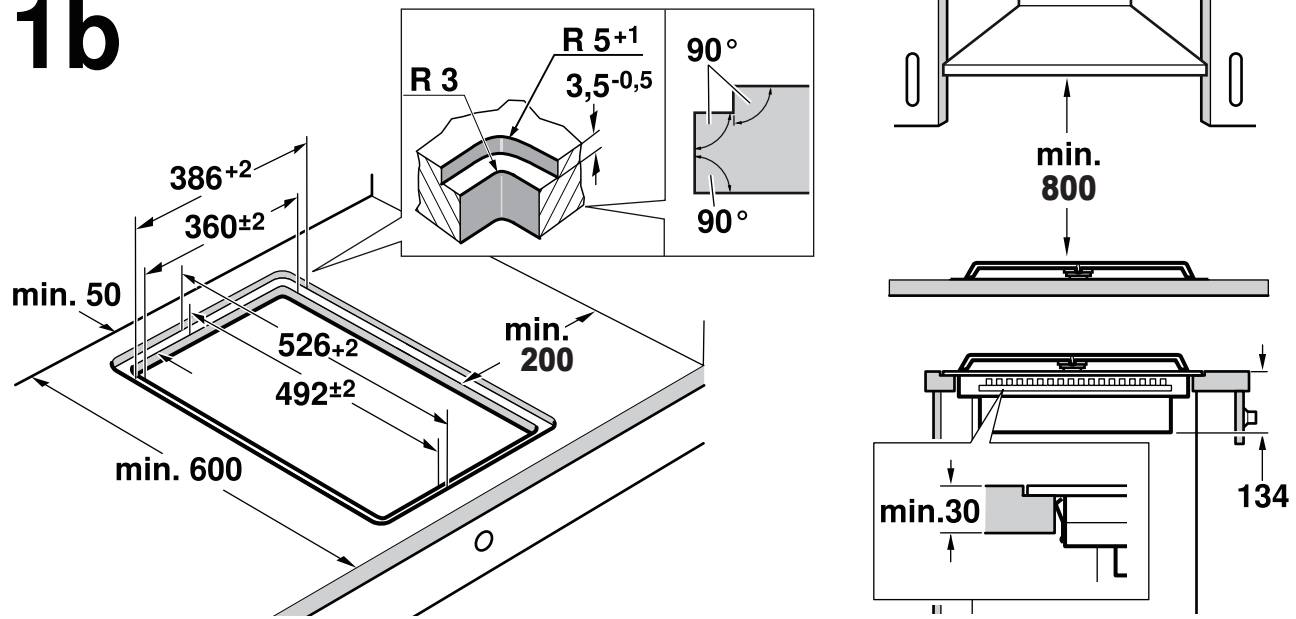
天板開口寸法と設置上および機能上必要な寸法



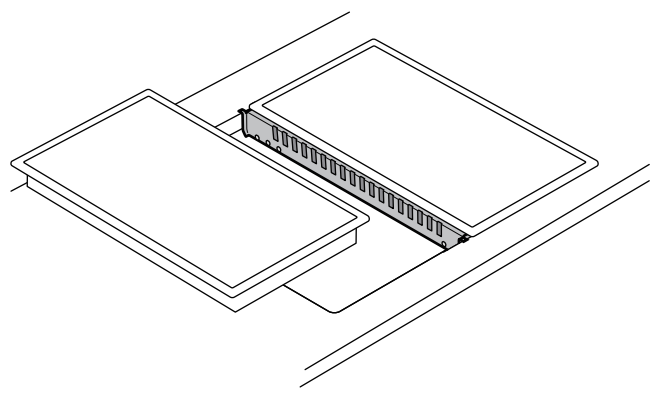
一般財団法人日本ガス機器検査協会の指針に基づく周囲からの離隔距離



1b

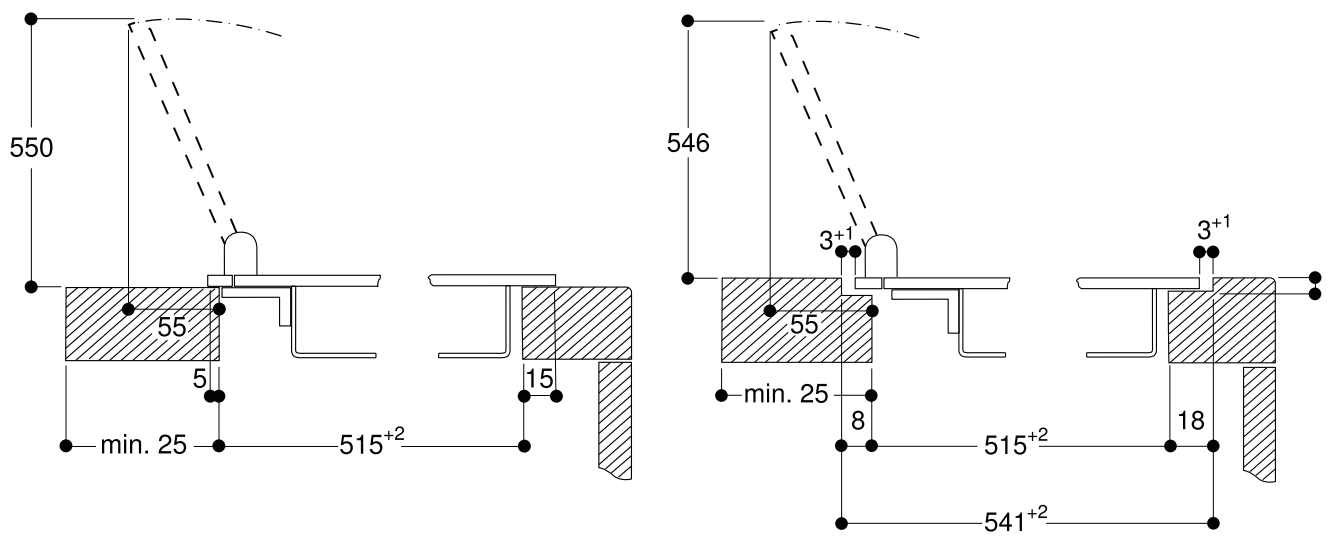


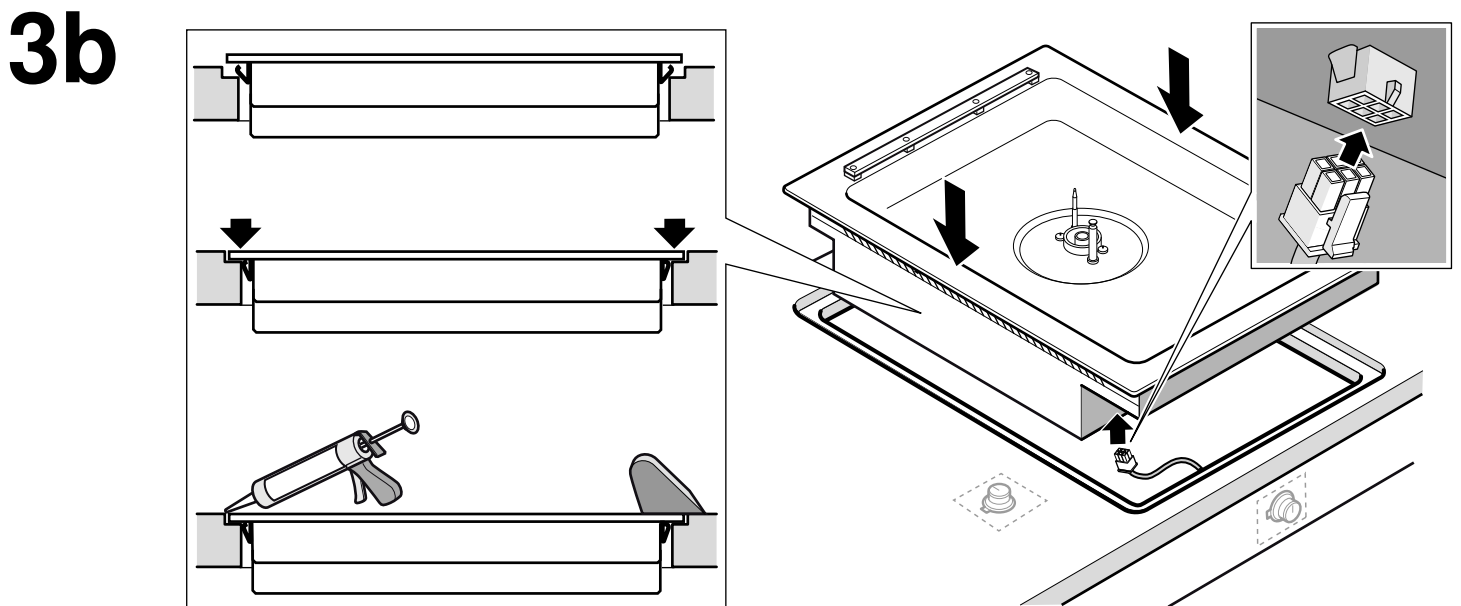
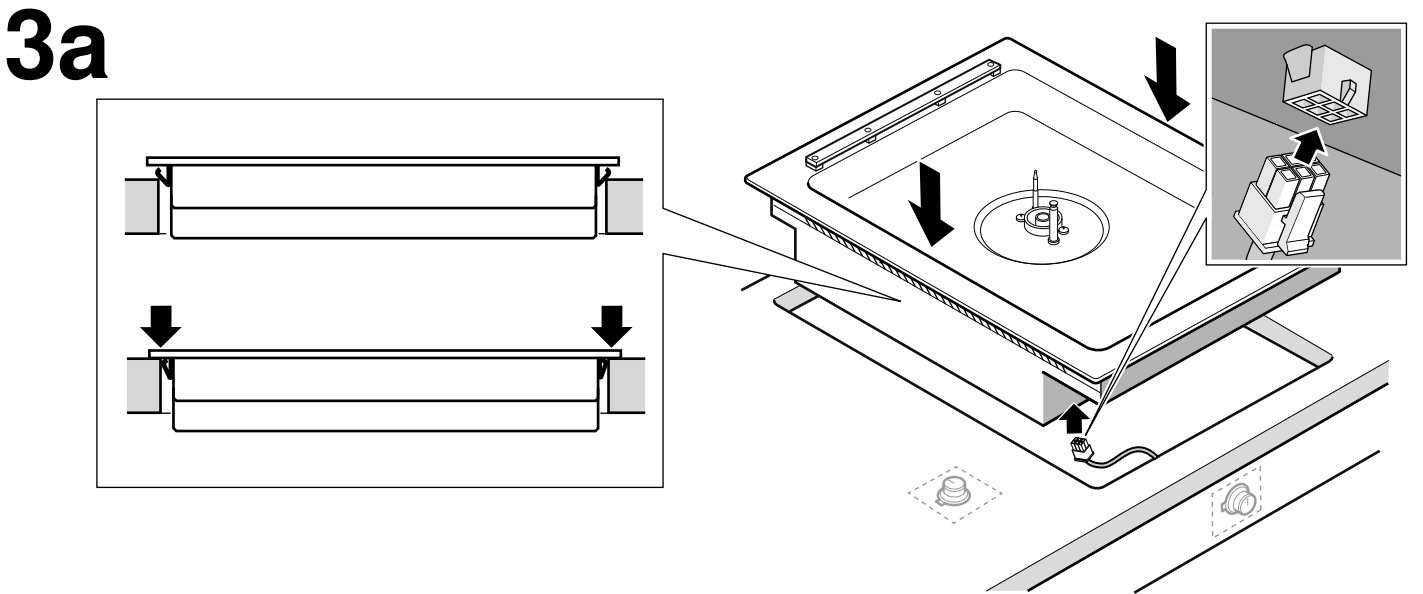
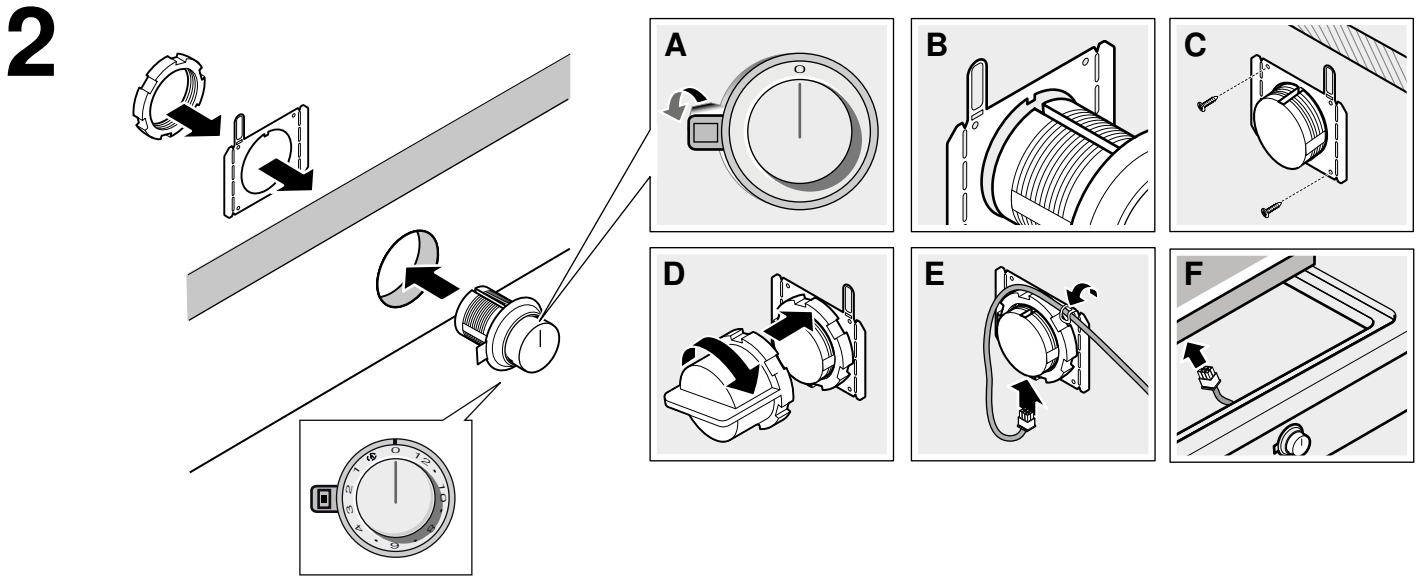
1c



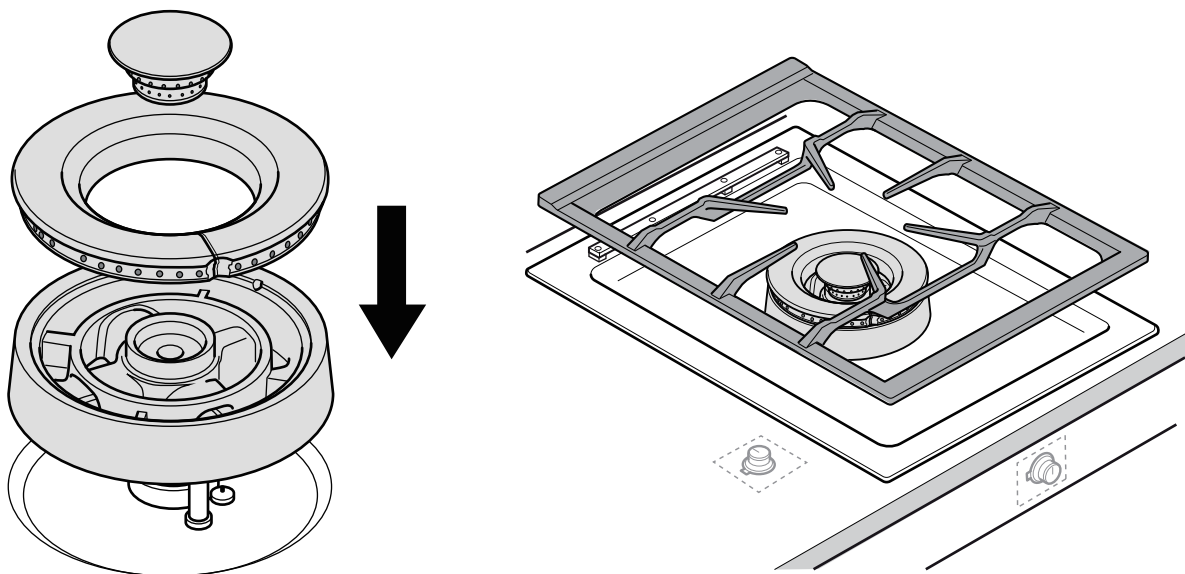
VA 420 000/010

1d

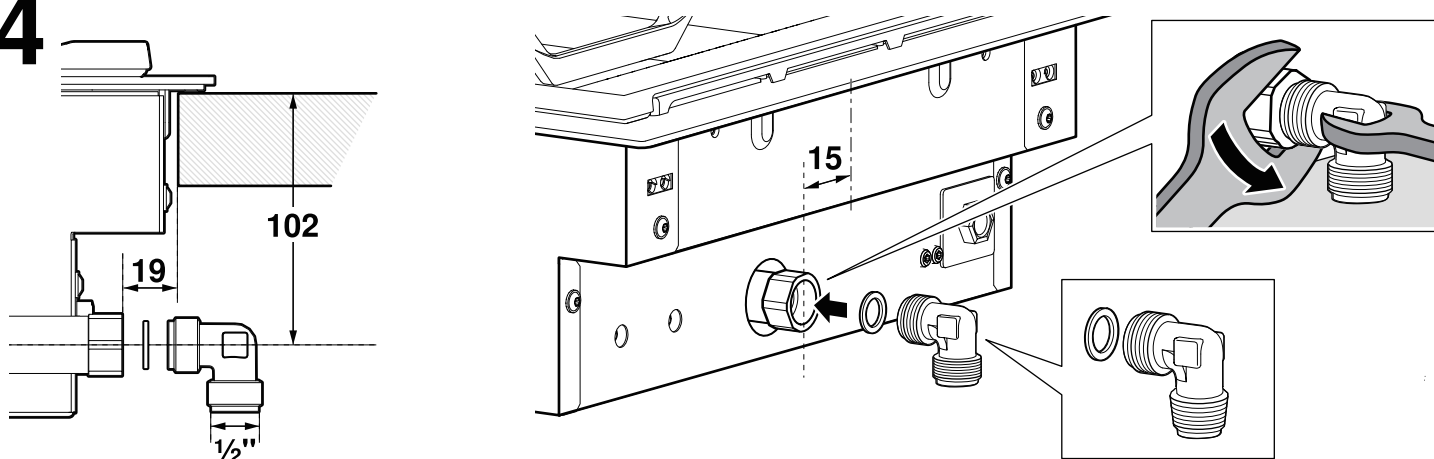




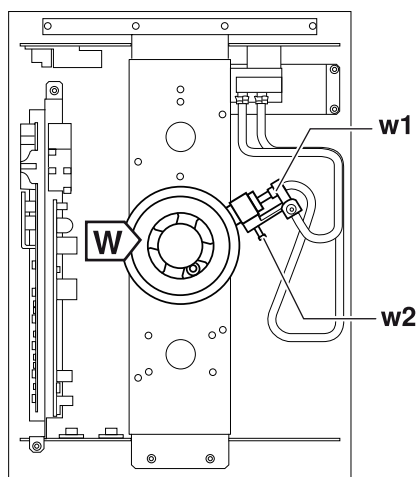
3c







4

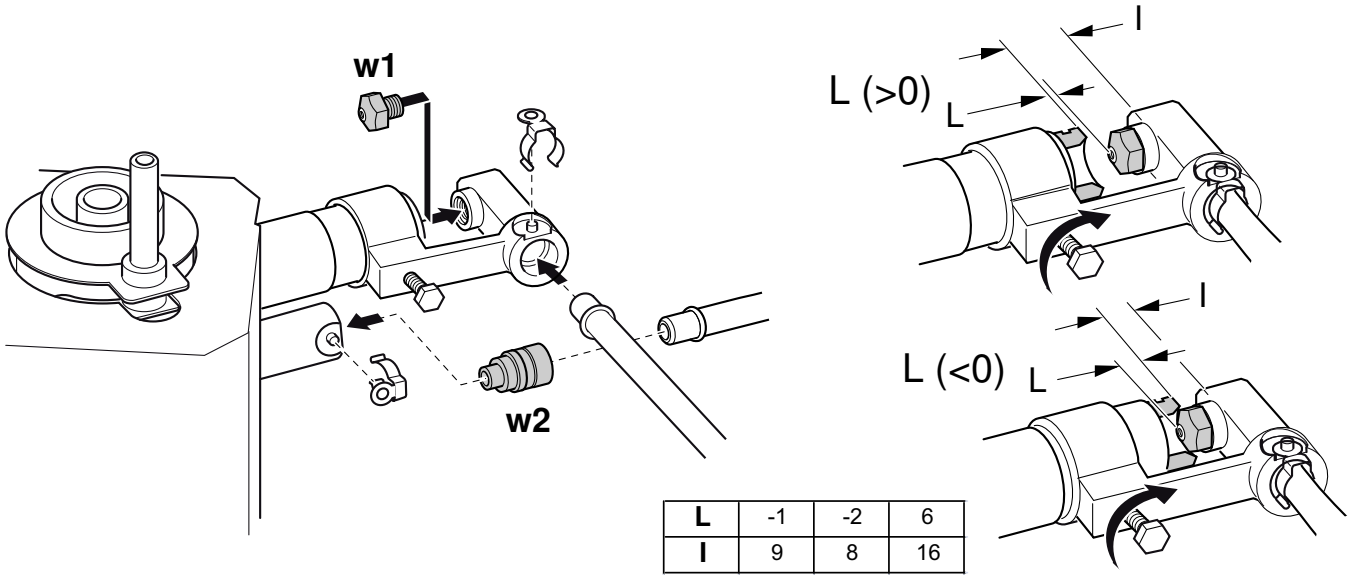


5

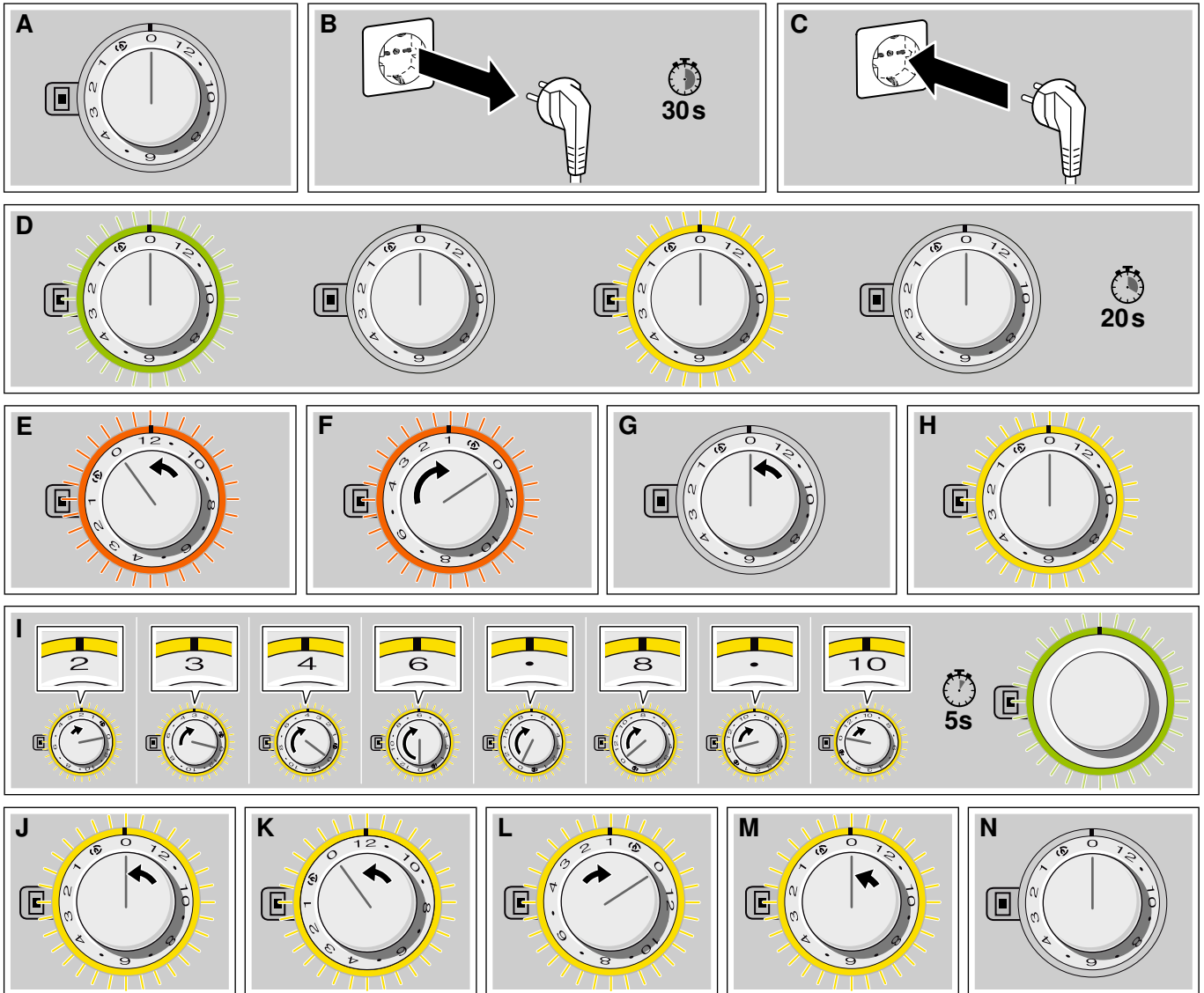


	Natural Gas 13A
	20mbar
	162
	3mm
	60
	6.0kW

6



7



重要な注意事項

この説明書をよくお読みになり、大切に保管してください。製品を安全に使用するために、この設置説明書に従って正しく設置してください。工事担当者は設置時に機器が正常に作動するか確認してください。

△けがの危険!

設置時に使用する部品には鋭利なものもありますので、保護手袋を着用してください。

機器の接続は免許を有する熟練の技術者が行ってください。

作業を行う前に電気とガスを切ってください。

適用される現行の建築規制や地域電気・ガス供給事業者の規制に準拠して設置を行ってください。ガスの種類を変更する場合は、アフターサービスまでご連絡ください。

△ガス漏れの危険!

ガス管接続後は必ずガス漏れのチェックをしてください。ガス管接続の不備によるガス漏れについて、メーカーは一切責任を負いません。

製品設置する部屋は十分な換気を行ってください。

必ず、必要排気量を守ってください。

注意!

- 製品は送気管に接続されていません。必ず設置条件に従って接続し、使用を開始してください。製品を排ガス口に接続しないでください。換気規制を順守してください。
- 3 mm 以上の接点間隔を有する全極遮断電源スイッチが設置されていなければなりません。または製品がセーフティプラグを通じて主電源に接続されていなければなりません。プラグは設置完了後も手の届く場所に配置してください。
- 定格銘板に表示される電圧、ガスの種類・圧力などの仕様は、使用場所の電源接続条件に従ってください。
- 電源コードを曲げたり挟んだりしないでください。
- 製品はクラス3に該当します(キッチンユニットに設置する場合)
- 設置図面に従って設置してください。製品の背面は、不燃性の壁にしてください。
- 製品は、外部タイマーや外部リモコンによる作動を想定していません。そのため製品をボートや乗り物に設置しないでください。

付属品

VA 420 000 他のバリオ400シリーズと連結して埋め込み設置するための接続部品

VA 420 001 他のバリオ400シリーズと連結してトップカバー・拡張部品を埋め込み設置するための接続部品

VA 420 010 他のバリオ400シリーズと連結して表面に設置するための接続部品

VA 420 011 他のバリオ400シリーズと連結してトップカバー・拡張部品を表面に設置するための接続部品

VA 440 010 ステンレス製トップカバー

VA 450 401 製品拡張部、38cm

ユニットの準備(図1a)

キッチンユニットは、最低90°C(約190°F)の耐熱性が必要です。開口部を作った後、ユニットがぐらつかないよう安定させてください。設置図面に従って、設置台数に応じて天板を開口してください。切断面と天板が直角になるよう開口してください。

製品の押さえバネがおさまるように、側面部の切断面は平らにしてください。積層ワークトップでは、必要に応じて開口部の側面に接続部品をはめこんでください。

開口部を切り取った後、切りくずを取り除いてください。耐熱・防水のため、切断面を密封してください。

製品底部からキッチンユニットまでの間は10mm以上あけてください。

特に薄い天板などの場合は、負荷容量や安定性を考慮した適切な土台構造にしてください。付属品なども含めた製品の重量を考慮してください。補強材は耐熱・耐水性のものを使用してください。

注: 製品を開口部に設置してから、水平であることを確認してください。

埋め込み設置(図1b)

製品を天板上部と同じ高さになるように天板に埋め込むこともできます。

以下の耐熱・耐水性の天板に設置できます。

- 御影石の天板
- プラスチック製天板(Corion®など)
- 無垢材天板: 天板メーカーの合意がある場合のみ(切断面をシールする)
- 他の材質の場合、使用について天板メーカーにお問合せください。

製品を圧縮木材の天板に設置することはできません。

注: 天板の開口は、設置図面に従って専門店で行ってください。切断面は表面から見えるため、開口は丁寧かつ正確に行ってください。切断面は、適した洗浄剤できれいに洗浄してください。(シリコンメーカーの指示に従ってください)。

バリオシリーズの連結(図1c)

バリオシリーズの連結には、VA 420 000/001/010/011の接続部品が必要です。この付属品はオプションで別途注文できます。開口の際、各製品の間接続部品のためのスペースを別に設けてください。(設置説明書VA 420 000/001/010/011参照)。

別々に天板を開口して設置する場合は、開口部と開口部の間を50mm以上取ってください。

トップカバーをつける場合とつけない場合の寸法の差異は、VA 450 110/-401/-600/-800/-900の拡張部(製品の幅に合わせて)で調節してください。

トップカバーをつける場合(図1d)

トップカバーVA 440 010は、オプションで別途注文できます。開口の際、トップカバーに必要なスペースを取ってください。

調節つまみ用の穴

設置可能な場所:

- フロアキャビネットの前面
- 製品の横の天板
- 製品の手前の天板

注: 調節つまみについては設置説明書の指示に従ってください。

調節つまみの設置(図2)

注: 調節つまみについては設置説明書の指示に従ってください。

1. 調節つまみの間隔により、つまみ用穴を開ける際に設置プレートを切り取る必要があります。設置プレートを調節パネル後面・天板下部に留めるか、付属のネジで固定してください。
2. 調節つまみを個別につける場合、または穴を開ける際に設置プレートを切り取った場合、2個のネジで設置プレートが回らないように固定してください。石材の天板の場合は、耐熱性のある二液混合型接着剤(石材・金属用)で設置プレートを接着してください。
3. 点灯リング裏の保護フィルムをはがしてください。
4. 調節つまみを穴に押し込み、付属の工具を用いて後ろからネジで止めてください。

5. 付属の短ケーブルを用いてすべての調節つまみを接続してください。必ずオスコネクタをメスコネクタに差し込んでください。
注:調節つまみのメスケابلコネクタ2個は同じものです。
6. 長ケーブルを調節つまみに取り付け、製品に接続してください。必ずオスコネクタをメスコネクタに差し込んでください。
注:製品はどの調節つまみに接続しても構いません。
7. 設置後、プラグインの接続がすべて正しく行われているか確認してください。
8. すべてのケーブルを取り付けた後、タブを下げて設置プレートにケーブルを固定してください。

製品の設置 (図3a)

1. 調節つまみの接続ケーブルの端を製品下部のメスコネクタに挿入してください。必ずオスコネクタを差し込んでください。
2. 製品を開口部に水平に入れ、強く押し込んでください。
注:製品は必ず動かないように(洗浄時など)固定させてください。開口寸法が標準寸法を超える場合、必要に応じて開口部の端に当て木をして固定してください。
3. 製品を電源・ガスに接続し、正常に機能するか確認してください。製品の電源が切れる場合、ガス供給管の中に空気が入っている可能性があります。バーナーが点火するまで、調節つまみの電源のオン、オフを繰り返してください。

埋め込み設置の場合 (図3b)

注:接着前に、すべてが正常に機能しているか確認してください。適切な耐熱性シリコン接着剤 (OTTOSEAL® S 70など) を周囲のすきまに注入してください。メーカー推奨のスムーサーで接続部の表面を平らにしてください。シリコン接着剤の説明書に従ってください。シリコン接着剤が完全に乾くまで、機器を使用しないでください (最低24時間。室温により異なる)。

注意!

●天然石の天板に適さないシリコン接着剤を使用すると、変色する可能性があります。

ガス接続 (図4)

ガス接続は、遮断弁が使用できる状態で行ってください。製品には接続エルボがついています。接続はガス事業者の指定する工事店に依頼してください。

電源接続

機器の電圧・周波数が、電気設備に適合したものであるか確認してください。コンロはモデルに応じて、主電源ケーブル、プラグがついています。製品は規定に適合したソケットに接続し、アースを取ってください。製品はタイプYに該当します。主電源接続ケーブルの交換は、アフターサービスに限り対応可能です。ケーブルのタイプと最小断面積を確認してください。

仕様

総接続負荷 VG 415 211 (天然ガス)
6 kW (NLガス 20mbar)
電源: 25.0 W
各バーナーの最大安全設定時間: 10秒

メインノズルの交換 (図6)

1. ゴトクおよびバーナーの部品をすべて取りはずしてください。
2. バーナーについているクックトップ固定ネジをゆるめ、クックトップをゆっくりと持ち上げてはずします。
3. バーナー管から留め具をはずし、バーナー管を引き上げます。空気制御スリーブのネジをはずしてください。ノズル固定ヘッドをはずしてください。
4. 内側のバーナーリングのノズルとOリングを手で引き出します。外側のバーナーリングのノズルをはずしてください (WAF 10)。
5. Oリングが内側のバーナーリングの新しいメインノズルに正しくおさまっているか確認してください。ノズルをバーナー管にはめてください。外側のバーナーリングの新しいメインノズルを、ノズル固定ヘッドの方へ動かなくなるまでねじ込みます。
6. ノズル固定ヘッドとバーナー管をはめ、固定ネジをつけてください。
7. ネジをゆるめ、空気制御スリーブを調整して正しく設定してください (ノズル表を参照)。ネジをしめます。
8. クックトップを元の位置に戻し、ネジを均一にしめてください。バーナーの部品、ゴトクを元の位置に戻し、正しい位置にセットされているか確認してください。

ガスの種類の設定 (図7)

いずれかの調節つまみで、ガスの種類を設定してください。

1. 調節つまみを0に合わせます。製品の電源プラグをはずして、30秒以上待ちます。
2. 電源プラグを差し込みます。調節つまみ外側の点灯リングが数秒間、緑色に光り、黄色に変わります。ライトが消えるまで待ちます。
3. 調節つまみを反時計回りに回し、12に合わせます。
4. 調節つまみを時計回りに回し、1に合わせます。
5. 調節つまみを反時計回りに回し、0に合わせます。点灯リングが黄色に光るまで待ちます。
6. 調節つまみをガスの種類に合わせてください。設定されている位置が緑色に光ります。

調節つまみ位置	ガスの種類
2	天然ガス 13A – 20 mbar

7. 調節つまみを所定の位置に設定後、5秒以上待ちます。調節つまみ外側の点灯リングが緑色に光ります。
8. 設定を保存するには、以下の手順でメニューを終了してください: 調節つまみを0に合わせます。反時計回りに回し、12に合わせます。時計回りに回し、1に合わせます。反時計回りに回し、0に合わせます。点灯リングが消えるまで待ちます。

設定が保存されます。調節つまみ外側の点灯リングが数秒間黄色に光ります。点灯リングが消えるまで待ちます。

変更後の作動確認

炎の先が黄色くならず、設定を「高」から「低」にすばやく切り替えても炎が消えなければ、正しく調節されています。
注:ガスの種類変更を示すために、ノズル一式に付属の表示シールを製品の定格銘板に貼ってください。

製品の取り外し

製品の電気・ガスの接続を切ってください。埋め込みタイプの場合、シリコンの接続部を取りはずしてください。製品を下から押し上げてください。

注意!

損傷の恐れがありますので、製品を上から引き上げないでください。

輸入販売元

株式会社 N. TEC

〒651-1411

兵庫県西宮市山口町名来2-23-7

☎ 078-904-3101 FAX 078-904-3102

株式会社 N. TEC 東京支店

〒106-0044

東京都港区東麻布1-8-4 ザ・ベルグレイヴィア麻布1F

☎ 03-5545-3877 FAX 03-5545-3878

GAGGENAU